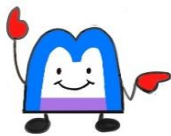
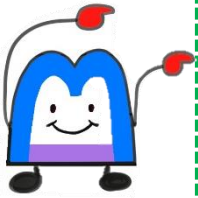


## 苦手さに対応する国語の学習

- 1 文字の読みを覚えるために
- 2 文字や単語を書けるようになるために
- 3 促音、拗音等のある単語を書けるようになるために
- 4 文字を書くことに慣れ親しむために
- 5 書く力を高めるために
- 6 正しく読み、言葉を広げるために
- 7 主述を整えて書き表せるようになるために
- 8 聞いたとおりに表すことができるようになるために
- 9 物語文の読みの素地づくりのために
- 10 説明文の読みの素地づくりのために



子どもの苦手なところを見つけて  
学習課題をつかもう。



# 1 文字の読みを覚えるために

文字と音声、もの（挿絵で提示）を結びつける。

## 学習の内容

- 生活に身近な単音節の言葉
- 清音の単語、濁音、半濁音の単語を中心に

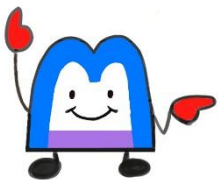
## 学習の流れ

- 1 絵とつないで文字を読む。
- 2 字形を意識しながら文字を読み、絵と合わせる。
- 3 音節の枠に文字カードを置いて、ものの名まえを表す。  
※ 二音節以上は、語頭や語尾の文字を入れる課題を設ける。
- 4 絵と言葉を合わせる。

## 活用教材

基本教材と習熟教材を用いる。  
子どもの段階に合う言葉を取り上げる。

絵と合わせて文字を読みながら、文字の読みを覚えよう。



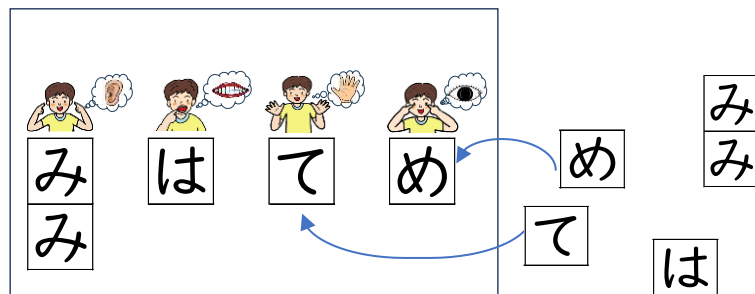
文字カードをたくさん合わせよう。

## 一音節の単語

### 1 絵とつないで文字を読む

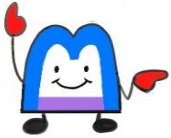






### 2 字形を意識しながら文字を読み、絵と合わせる



### 3 文字を置いて、ものの名まえを表す

覚えていないときは、前のワークシートを見てみよう。







			
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

(1-8ページ目の)

み	は	て	め
み			

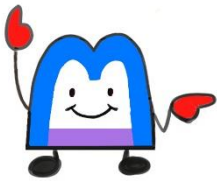
### 4 絵と言葉をつなぐ

			
・	・	・	・
は	み	め	て
	み		





### 二音節以上の単語

#### 1 絵とつないで文字を読む

絵とつないで一文字ずつ正しく読もう。







#### 2 字形を意識しながら文字を読み、絵と合わせる

			
か	か	か	か
さ	お	め	に





### 3 文字を置いてものの名まえを表す

はじめに語頭の文字を覚えて、次に語尾の文字を覚えよう。

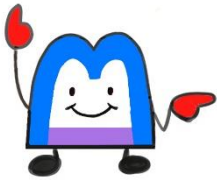
語頭を置く

			
さ	お	め	に





語尾を置く

			
か	か	か	か

か	か	お	さ
か	か	に	め



文字を置いて、単語をつくる

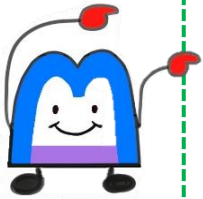
			

か	か	お	さ
か	か	に	め

絵に合わせて繰り返し読みながら、正しく文字カードを置こう。

### 4 絵と言葉を合わせる

			
かさ	かお	かめ	かに



## 2 文字や単語を書けるようになるために

なぞり書きや視写を繰り返す。

### 学習の内容

- 生活に身近な単音節の言葉
- 清音の単語、濁音、半濁音の単語を中心に

### 学習の流れ

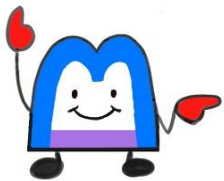
- 1 音読をする。
- 2 なぞり書きをする。
- 3 視写をする。
- 4 単語を書く。

### 活用教材

基本教材と習熟教材を用いる。  
子どもの段階に合う言葉を取り上げる。

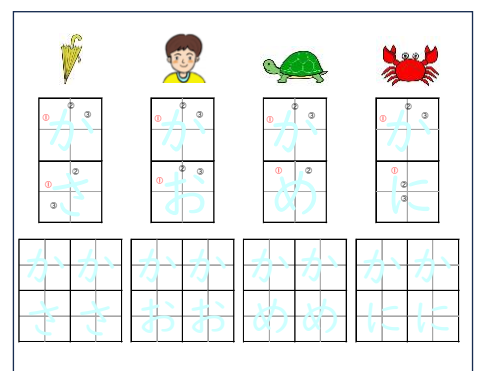
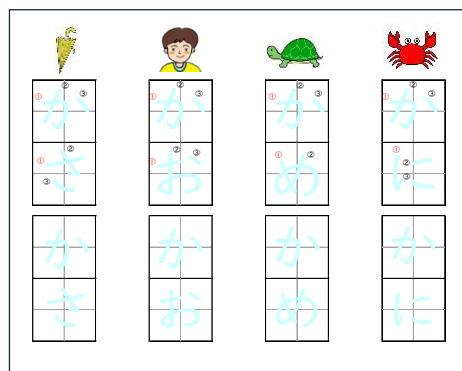
### 1 音読をする

絵と言葉を何  
度も読もう。







### 2 筆順にそってなぞり書きをする

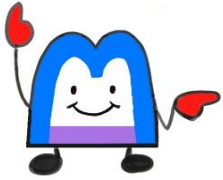
筆順に着目し  
て、繰り返  
しなぞり書きを  
しよう。文字  
を読みながら  
書こう。



### 3 視写をする





文字を読みながら書こう。

			
か	か	か	か
さ	お	め	に







### 4 単語を書く

語頭を書く





			
さ	お	め	に

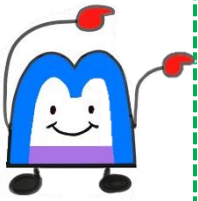
語尾を書く

			
か	か	か	か

文字を見て言葉を言いながら、語頭や語尾の文字を書こう。

単語を書く



### 3 促音、拗音等のある単語を書けるようになるために

促音、拗音等の音節を意識して読む。表記の仕方に着目する。

#### 学習の内容

- 促音、拗音、長音、拗長音、拗促音のある単語

#### 学習の流れ






- 1 音読をする。
- 2 なぞり書きをする。
- 3 視写をする。
- 4 促音、拗音等の文字を音節に書き入れて単語をつくる。
- 5 促音、拗音等のある単語を書く。

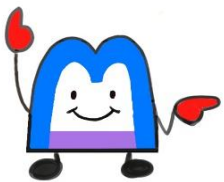
#### 活用教材

基本教材を用いる。

#### 1 音読をする


「ちゃ」等、線のひいてある部分の読み方に気をつけよう。

				
で ん し ゃ	か ぼ ち ゃ	お も ち ゃ	き し ゃ	お ち ゃ




#### 2 なぞり書きをする

促音、拗音等のある単語を読んで、表記に注意してなぞって書こう。

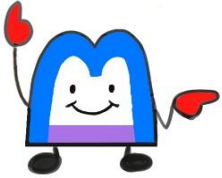
				
で ん し ゃ	か ぼ ち ゃ	お も ち ゃ	き し ゃ	お ち ゃ

促音、拗音等のある単語を読んで、小文字で書くところを捉えて書こう。

### 3 視写をする




で	か	お	き	お
ん	ぼ	も	し	ち
し	ち	ち	や	や
や	や	や		



促音、拗音等のある音節を、大文字、小文字に注意して書こう。






### 4 拗音等の文字を書き入れて単語をつくる




で	か	お	き	お
ん	ぼ	も		

促音、拗音等の音節を捉えて、小文字で書くところを直そう。

### 5 拗音等の表記の誤りを直す

で ん し や	か ぼ ち や	お も ち や	き し や	お ち や
				

### 6 拗音等のある単語を書く




えをみてかきましよう。



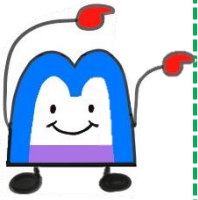
## 7 拗音等のある単語を聴写する

言葉を聞いて  
復唱し、促音、  
拗音等の音節  
を捉えて書こ  
う。



5	4	3	2	1

で	か	お	き	お
ん	ぼ	も	し	ち
し	ち	ち	ゃ	ゃ
ゃ	ゃ	ゃ		



## 4 文字を書くことに慣れ親しむために

正しく読みながら書く。

### 学習の内容

- 単語の視写  
清音の単語、濁音、半濁音、撥音、促音、長音、拗音、拗長音、拗促音のある単語
- 二語文、三語文、多語文の視写

### 学習の流れ

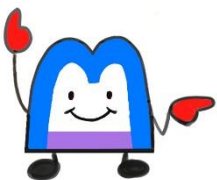
- 1 単語や文を読む。
- 2 単語や文を見て書く。

### 活用教材

かるた教材を用いる。  
単語や文の意味をつかめないときは、基本教材の学習ワークを用いる。

### 1 単語や文を読む

単語や文を正しく読んで覚えよう。



### 2 単語や文を見て書く

読みながら書こう。







## 二音節の単語（語頭が「あ」）の例

単語を一音ずつ区切って言いながら、単語を正しく書こう。

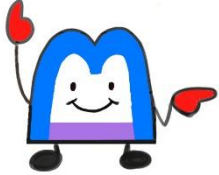
（かるた）

あ り	あ し	あ め
--------	--------	--------

（ワークシート）

			
あ か	あ め	あ し	あ り

（単語を書くワークシート）






## 濁音のある単語の例

濁音等、その音に着目して、表記の仕方を意識して正しく読もう。読みながら正しく書こう。

（かるた）

に ん じ ん	す ず め	ぜ ん ざ い
------------------	-------------	------------------

（ワークシート）

				
ぞ う	ぜ ん ざ い	す ず め	に ん じ ん	ざ る

（単語を書くワークシート）

5	4	3	2	1

## 二語文の例

二語文は、目的語と動作語を捉えて、読みながら書こう。

（かるた）

た べ る。	け え き を	と る。	りん ご を	か う。	りん ご を
あ ら う。	りん ご を	き る。	りん ご を	た べ る。	りん ご を

（ワークシート）

				
りん ご を た べ る。	りん ご を き る。	りん ご を あ ら う。	りん ご を か う。	りん ご を と る。

(文を書くワークシート)

5	4	3	2	1

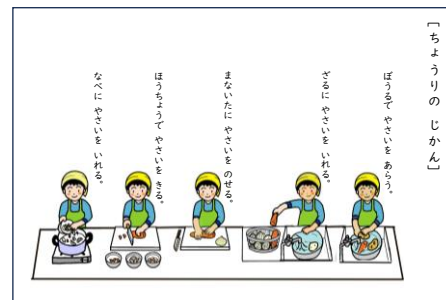


三語文の例

(かるた)

まないたに やさいを のせる。	ぼうて やさいを あらう。
ざるに やさいを いれる。	なべに やさいを いれる。
ほうちようで やさいを きる。	

(ワークシート)



三語文～多語文の意味を捉えて、繰り返し読もう。助詞の使い方に注意して、正しく文を書こう。

(文を書くワークシート)

5	4	3	2	1

## 5 書く力を高めるために

単語や文を読んで、記憶して正しく書く。

### 学習の内容

#### ○ 単語

清音の単語、濁音、半濁音、撥音、促音、長音、拗音、拗長音、拗促音のある単語

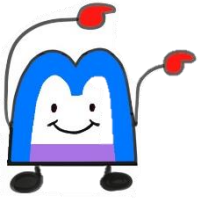
#### ○ 二語文、三語文、多語文

### 学習の流れ

- 1 単語や文を繰り返し読む。
- 2 読んだとおりに、記憶して書く。

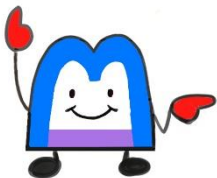
### 活用教材

- かるた教材を用いる。
- 子どもの段階に合う言葉を取り上げる。



### 1 単語や文を繰り返し読む

単語や文を繰り返し読んで、単語や文を覚えよう。

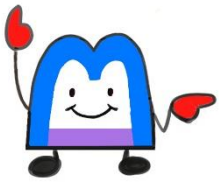


### 2 読んだとおりに視写したり、記憶したりして書く

単語や文を記憶して書こう。



目的語と動作語を捉えて、文を覚えて書こう。



## 二語文の例

(かるた)

た べる。	け えきを	と る。	りん ごを	か う。	りん ごを
あ らう。	りん ごを	き る。	りん ごを	た べる。	りん ごを

(文を書くワークシート)

5	4	3	2	1

意味を捉えて文を覚え、助詞に注意して書こう。

## 三語文の例

(かるた)

き る。	ほ うちよ うで	い れる。	ざ るに	ま ないた に	や さいを
や さいを	ほ うちよ うで	い れる。	な べに	あ らう。	ぼ うり て
き る。	ほ うちよ うで	い れる。	や さいを	あ らう。	や さいを

(文を書くワークシート)

5	4	3	2	1

## 6 正しく読み、言葉を広げるために

絵札の物や場面を捉えて、読み札を合わせる。

### 学習の内容

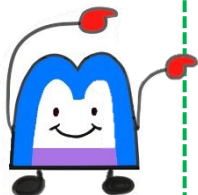
- 単語  
清音の単語、濁音、半濁音、撥音、促音、長音、拗音、拗長音、拗促音のある単語
- 二語文、三語文、多語文

### 学習の流れ

- 1 絵札を読んで並べる。
- 2 読み札を音読し、絵札と合わせる。

### 活用教材

- かるた教材を用いる。
- 子どもの段階に合う言葉を取り上げる。



### 1 絵札を読んで並べる

かるたの読み札と絵札で言葉の意味を理解しよう。

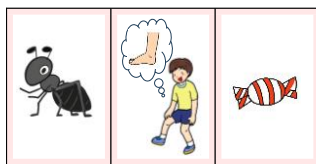


### 2 読み札を音読して、絵札と合わせる

読み札を声に出して読みながら、絵札を合わせよう。

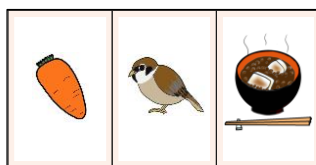


清音（二音節）の単語（語頭が「あ」）の例



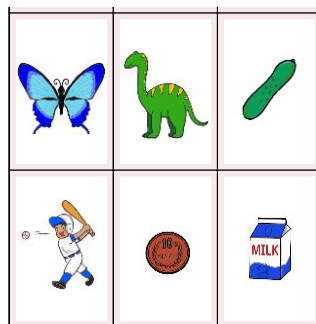
あ り	あ し	あ め
--------	--------	--------

濁音のある単語の例



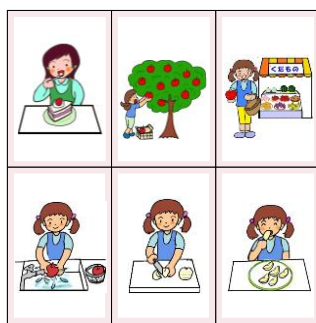
に ん じ ん	す ず め	ぜ ん ざ い
------------------	-------------	------------------

拗長音のある単語の例



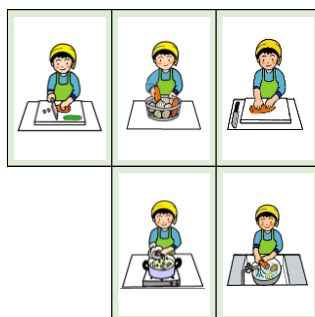
ち よ う ち よ う	き よ う り ゆ う	き ゆ う り
や き ゆ う	じ ゆ う え ん	ぎ ゆ う に ゆ う

二語文の例



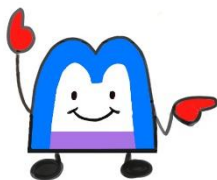
た べ る。 け え き を	と る。 りん ご を	か う。 りん ご を
あ ら う。 りん ご を	き る。 りん ご を	た べ る。 りん ご を

三語文の例



き る。 や さい を	ほう ち よう で い れ る。	ざ る に や さい を い れ る。	ま な い た に や さい を の せ る。
な べ に や さい を い れ る。	な べ に や さい を い れ る。	あ ら う。 や さい を	ほう ち よう で や さい を

濁音、半濁音の読みを捉え、正しく読もう。



拗長音、拗促音等のある単語は、その音節に着目して正しく読もう。

語句を区切って正しく読もう。





## 7 主述を整えて書き表せるようになるために

文の構成に着目して、読み書きをする。

### 学習の内容

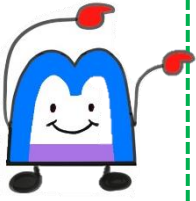
- 簡単な文（二語文～多語文）

### 学習の流れ

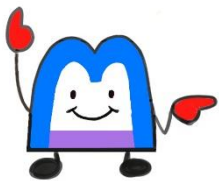
- 1 多語文の音読をする。
- 2 絵を見て、語句を合わせて文をつくる。
- 3 絵を見て、目的語や動作語、人称語、助詞等を入れて文をつくる。
- 4 絵を見て、文を書く。

### 活用教材






基本教材の文や習熟教材から子どもの段階に合う内容を取り上げ、繰り返しながら広げていく。








文を正しく読もう。



### 1 音読をする

				
よむ。 きょうしつでほんを	たべる。 やまでおにぎりを	はいる。 おうちでふろに	かわでかにをとる。	ばんやでばんをかう。

### 2 語句を合わせて文をつくる

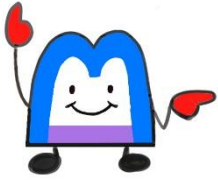
				

おにぎりをたべる。	ふろにはいる。	ばんをかう。	ほんをよむ。	かにをとる。	きょうしつで	ばんやで	おうちで	かわで	やまで
-----------	---------	--------	--------	--------	--------	------	------	-----	-----

絵を見て文を言ってから、語句を合わせて文をつくらう。

### 3 目的語や動作語、人称語、助詞を書いて文をつくる

文の正しい構成を覚えよう。



絵を見て文を言ってから、□の部分に言葉を書いて読み返そう。

ほんをよむ。	おにぎりをたべる。	ふるにはいる。	かにをとる。	ばんをかう。

きょうしつで	やまで	おうちで	かわで	ばんやで

よむ。	きょうしつ	たべる。	やま	はいる。
□	□	□	□	□
ほん	おにぎり	ふる	かに	ばん
□	□	□	とる。	かう。

### 4 文を書く

□	□	□	□	□



## 8 聞いたとおりに表すようになるために

読んだことや聞いたことを記憶して書く。

### 学習の内容

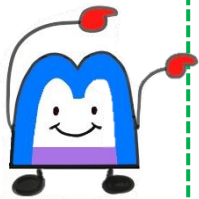
- 単語や簡単な文（二語文～多語文）

### 学習の流れ

- 1 聞いたとおりに復唱する。
- 2 聞いて絵カードを取る。
- 3 聞いて文カードを取る。
- 4 聞いたとおりに、□に言葉を書いて文をつくる。
- 5 聞いたとおりに、文を書く。
- 6 読んだことを再表現する。
- 7 読んだことを記憶し見ないで書く。

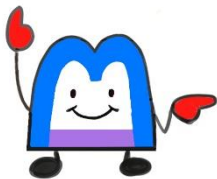
### 活用教材

かるた教材から子どもの段階に合う内容を取り上げ、繰り返しながら広げていく。



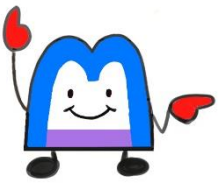
### 1 聞いたとおりに復唱する

聞いた文を記憶して復唱する学習を、繰り返ししよう。



## 2 聞いて絵カードを取る

聞いたとおりに文を記憶して、絵や文カードを取ろう。取ったら絵や文を読もう。



## 3 聞いて文カードを取る

えきにいく。	こうえんにいく。	がっこうにいく。	きょうしつでほんをよむ。
すうばあにいく。	ゆうびんきょくにいく。	ばんやでばんをかう。	
かわでかにをとる。	ふるにはいる。	おうちでたべる。	やまでおにぎりをたべる。

## 4 聞いたとおりに、□に言葉を書いて文をつくる

聞いたとおりに記憶して、□の部分に言葉を書こう。書いた文を読み返そう。

きょうしつで

やま

おうち

かわ

ばんや

ほんをよむ。

おにぎりをたべる。

ふるにはいる。

かにをとる。

ばんをかう。

ばんや □

ばん □

かう □

かわ □

かに □

とる □

おうち □

ふる □

はいる □

やま □

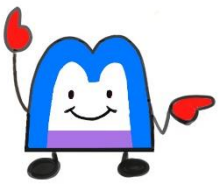
おにぎり □

たべる □

きょうしつ □

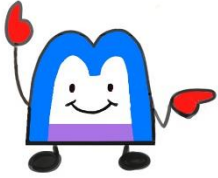
ほん □

よむ □



## 5 聞いたとおりに、文を書く

聞いたとおりに記憶して書こう。書いた文を読み返そう。



えきにいく。	こうえんにいく。	がっこうにいく。	きょうしつでほんをよむ。
すうばあにいく。	ゆうびんきょくにいく。	ばんやでばんをかう。	
かわでかにをとる。	おうちでふるにはいる。	やまでおにぎりをたべる。	



## 6 読んだことを再表現する

読んだとおりに文を記憶して言おう。



## 7 読んだことを記憶して見ないで書く

読んだ文を記憶して書こう。書いた文を読み返そう。

--	--	--	--	--



## 9 物語文の読みの素地づくりのために

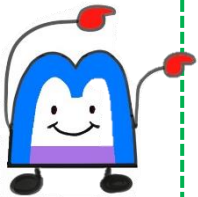
4コマ漫画の挿絵からあらすじを作ったり、登場人物の名前や登場人物のしたことや言ったこと、会話や想いを捉えたり、場面を捉えたりする。

### 学習の内容

- 登場人物がしたこと言ったことを捉える。
- 会話を捉える・想いを捉える・場面を捉える・順序を捉える。

### 学習の流れ

- 1 挿絵と文を並べてあらすじを捉える。
- 2 登場人物の名前や登場人物のしたことや言ったこと、会話や想い、場面を捉える。
- 3 自分で4コマ漫画の文を書く。



### 活用教材

漫画教材を用いる。

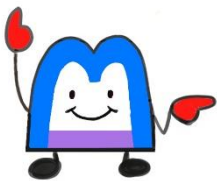
漫画教材「ボールをけったよ」  
登場人物と言ったこと（会話）を捉える例

挿絵を順に並べて絵に合う文を貼り、話をつくろう。

### 1 挿絵と文を並べてあらすじをつくる

		こうたさんとまことさんが、ボールけりをします。	こうたさんが、ボールをけりました。	ボールが、まことさんに、あたりました。ころびました。こうたさんが、はしってきました。

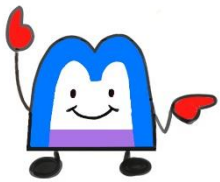
ボールをけったよ  
えとぶんをはって、おはなしをつくりましょう。



## 2 挿絵と文に登場人物を入れる

挿絵に登場人物の名前を貼り、文に登場人物の名前を書こう。

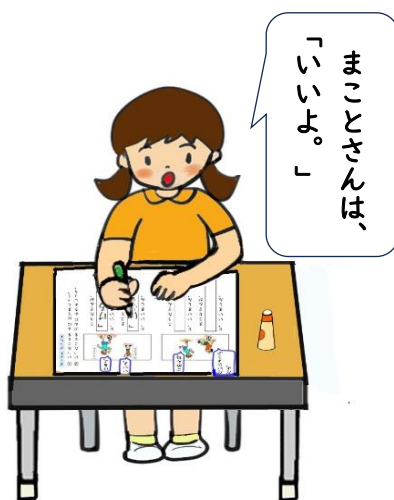
まことさん  
まことさん  
こうたさん  
こうたさん



## 3 挿絵に吹き出しを貼り、言ったことを文中に書く

登場人物の言ったことを考えて挿絵に吹き出しを貼り、文中に言ったことを「 」を使って書こう。

いいよ。  
けるよ。  
ごめんね。  
だいじょうぶだよ。



## 10 説明文の読みの素地づくりのために

「だれ」「なに」「どこ」「いくつ」「なにをしているか」の問いに着目して、絵を読んで答えたり、話したりする。

### 学習の内容

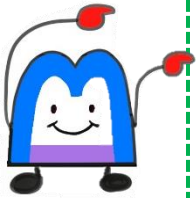
- 「だれがいますか」「なにがありますか」「どこにありますか」「いくつありますか」「なにをしていますか」

### 学習の流れ

- 1 問いに着目して、絵や言葉を読む。
- 2 問いを基に挿絵に表して話す。
- 3 問いを基に言葉に表して話す。

### 活用教材

説明文の教材を用いる。



## 説明文の基礎 2

「どこにありますか（みぎ、ひだり）」の例

### 1 問いの言葉で、挿絵を読む


問いを基に、挿絵から読んだことを答えよう。

よみましょう

はこのなかにはさみとのりがはいつています。

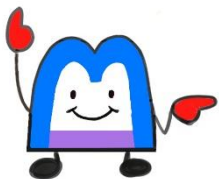
はさみは  
どこにありますか。

のりは  
どこにありますか。



ひだり

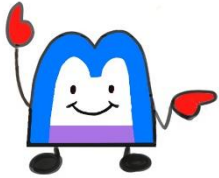
みぎ





## 2 問いを読み取り、絵に表す

問いを読んで  
絵を貼り、答  
えを言おう。



ひだり

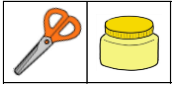
みぎ

のりはひだり

はさみはみぎ

**よみとりしだい**

えをはってなにかどこにあるかを  
いみましょう。



## 3 読んだことを表す

問いを読んで  
言葉を貼り、答  
えを言おう。

のりは

に

あります。

はさみは

に

あります。

**おはなししだい**

ことばをはってはなしましょう。

ひだり	みぎ
-----	----

